

明日の家族を考える会 会報



第25号

2011年6月

- ・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
- ・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
- ・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第7回定期総会開催

- 日時 2011. 6. 2 (木) 12:00~13:10
- 場所 ホテル竹園芦屋 コスモスの間 ○司会 中村事務局長
- 出席者確認 (敬称略)
 - 正会員 安生、大脇、河村、中村、羽賀、榎本、宮本、守上、三木、安井
以上10名
- 正会員21名の内、出席者10名、委任状6通 (大久保、上田、北村、竹原、田和、山本) で会則に基づき総会は成立。
- 配布資料の確認 第7回定期総会資料
- 議長選出 羽賀会長
 - ・議事録作成人指名 榎本会員
 - ・議事録署名人指名 中村会員
- 第1号議案 平成23年度役員改選 (羽賀会長)
原案を提案
- 第2号議案 平成22年度事業報告 (説明者: 榎本会員)
原案に加えて、当会員が当会の肩書きで講演などを行った場合の実績
を後日加筆する事を提案





第3号議案 平成22年度決算報告(説明者:河村会計担当)

原案の計算ミスを修正して、提案

第4号議案 平成23年度事業計画案(説明者:中村事務局長)

原案に加えて、3)「講演」の項目を追加することを提案

第5号議案 平成23年度予算案(説明者:河村会計担当)

原案に加えて、事務局費の項目(7,000円)の新設、お茶代に5,000円を計上すること、次年度より会計監査を別紙の形式にすることを提案

以上、各議案ごとに慎重に審議した結果、一部の修正を加えて、異議無しとして承認されました。

羽賀会長より、議案が承認されたことに対し、お礼の言葉があり、閉会した。

第7回定期総会に続き、6月度例会・昼食懇親会開催

13:10~14:50

○出席者確認 安生会員欠席、他は総会出席者と同じ

○報告事項 定期総会にて報告済みのため省略

○懇談事項

1. 平成22年度1年間の活動について
2. 東日本大震災について
3. 男女共同参画団体協議会におけるWNWの活動について
4. 平成23年度の活動について
5. 当会の相談用携帯電話の契約を調査し、見直す予定である。(中村会員)

○6月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第2・第4木曜日10:00~11:30

西藏集会所

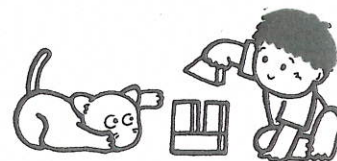
0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

6月9日(木)は、降雨のためか参加者はありませんでした。

参加 ボランティアは、辻原さん

23日(木)は、**2組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、

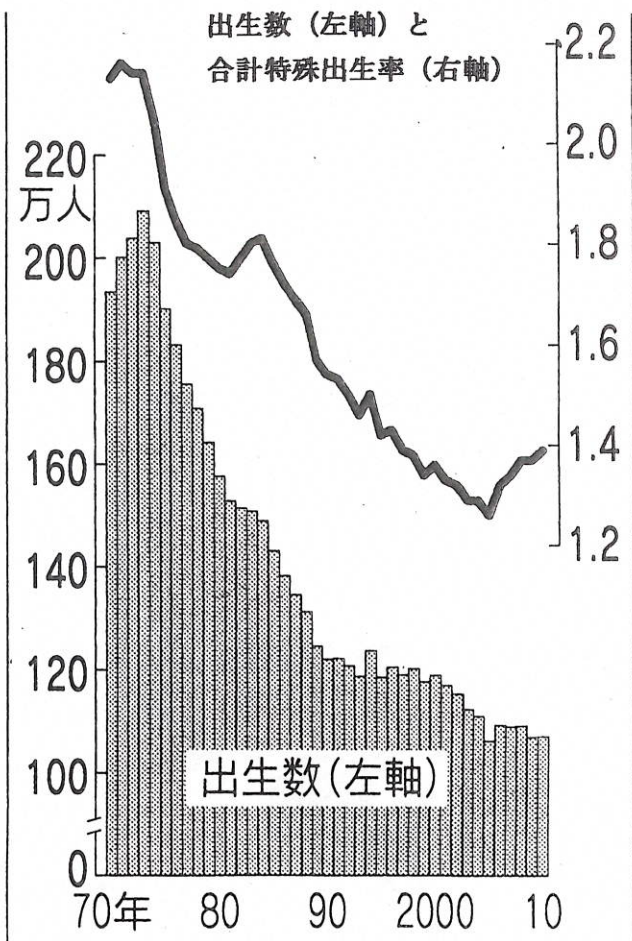


○2010年の合計特殊出生率

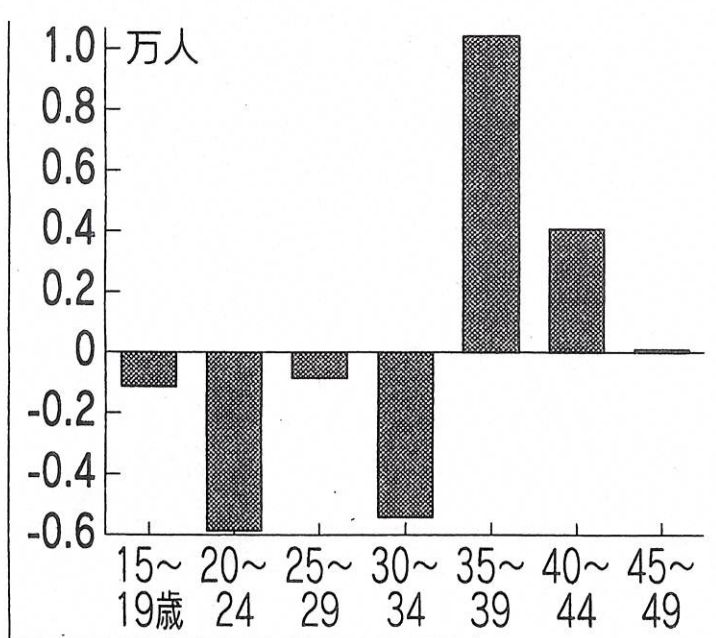
1. 37から1.39に上昇・35~44歳の出生がけん引している。

厚生労働省が発表した2010年の人口動態統計を見ると、女性が生涯に産むとされる子供の人数は1.39で2年ぶりに上昇している。増加の要因は30歳代後半の出産が増加したことが押し上げに寄与しているという。

しかし、出生数から死亡数を引いた自然増減数はマイナス12万6千人で4年連続で人口は減少している。人口減は今後も続くと思われるため有効な少子化対策が急務となっている。



2009年→2010年 女性の年齢別出生数



第21回ひょうご女性未来会議 in 芦屋 つながる世代

～子どもからおとなへ おとなから子どもへ～

2011年6月5日(日) 13:00~16:00、芦屋市保健福祉センター3F多目的ホールにて盛大に開催された。

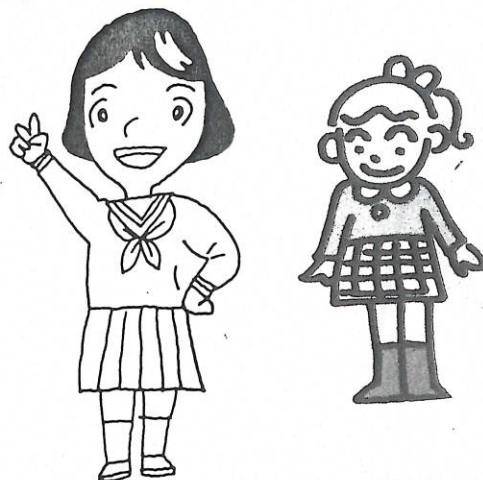
当会からは、中村さんが芦屋実行委員会のメンバーとして活躍した。

第1部の「さわやかステージ」では、芦屋大学「おもちゃばこASHIYA」の学生たちが芦屋にまつわるお話でエプロンシアターを上演、「わかものトーク」では、芦屋市内の若い世代からのメッセージ発信、メッセージを受けて、おとなからはエールを送った。

第2部は参加者の交流会で、心をこめた、「芦屋流おもてなし」でお茶とお菓子でゆっくりと交流、ふれあいマーケットを会場内に設けて買い物も出来るようになっていた。

○女性未来会議

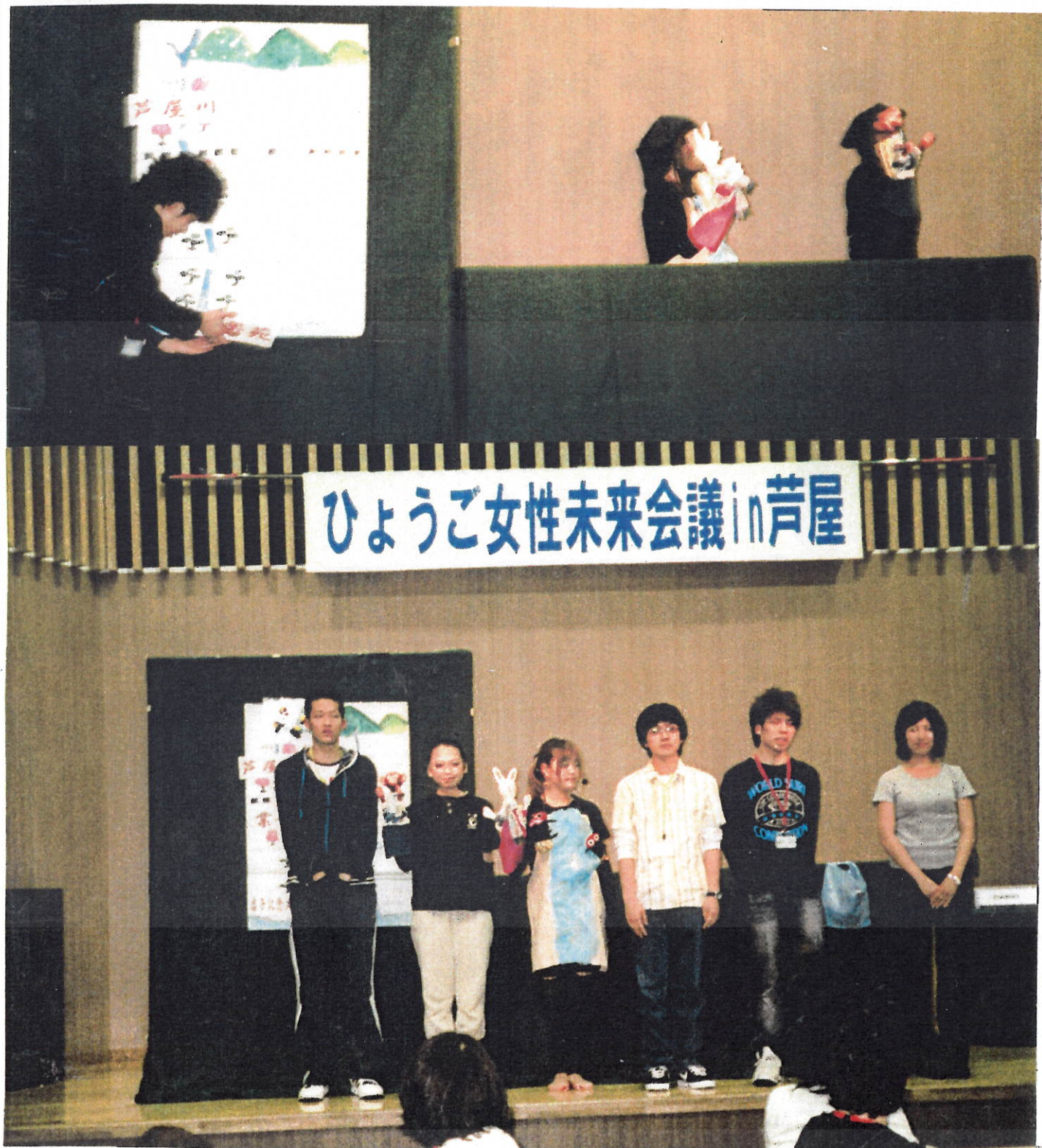
兵庫県立男女共同参画センター内に事務局を置き、さまざまな分野で活躍する兵庫の女性たちが一堂に会し、ネットワークを広げ、エンパワーメントしながら、新しいライフスタイルの実現をめざしていく女性のつどいです。現在会員数約740名。定期的に年2回程度の例会を開き、異業種間の交流を図りながら、情報発信、ネットワークづくりなどを行っている。



○芦屋大学「おもちゃばこASHIYA」

芦屋大学の学生7人が中心となって人形劇団「おもちゃばこASHIYA」を結成した。劇団は、芦屋の民話や伝承を人形劇や紙芝居にして子どもたちに伝えていこうとするもので、この4月に旗揚げしたばかりで今回が初ステージ。

作品は、うさぎとさるがピクニックする「うーちゃんともんた」。芦屋川がかって「ホテルの里」と呼ばれていたこと、業平橋の由来が平安時代初期の歌人在原業平であることなどを紹介している。

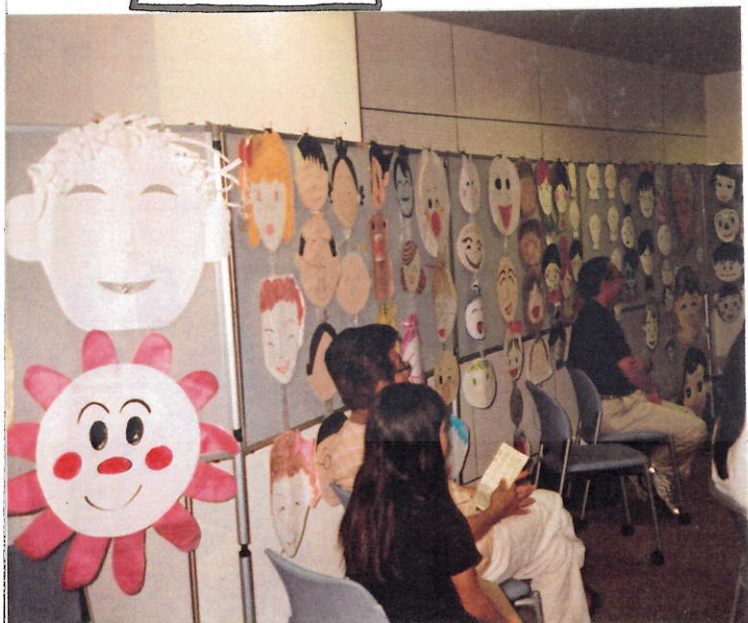
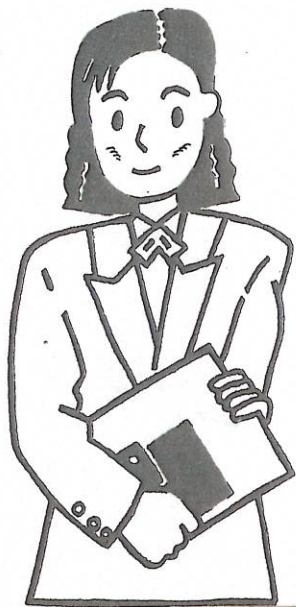
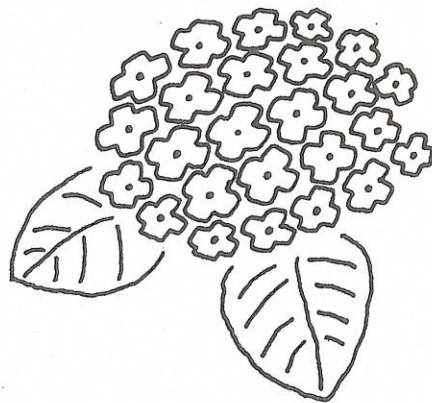




当会のPRを行う中村さん、左から3人目



おとなからわかものへ、エールの言葉を送る河村さん



あしやフェスタ2011 笑ってウィザス!笑顔をつくろうの共同作品が東西の壁一面に掲示され、会場を盛り上げました。

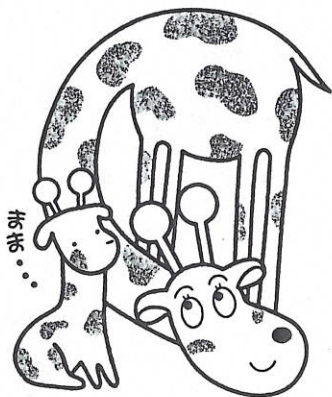
*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

6月14日(火)は、**10組の親子**(その内子どもは14名)が参加されました。参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん

6月28日(火)は、**11組の親子**(その内子どもは17名)が参加されました。参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん





県民交流広場事業



・・・河村さん担当

6月24日(金) 15:30~17:00 前田集会所にて

＝紙芝居、紙トンボ、魚釣り＝

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学生を対象に毎月第4金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-17)で開設しています。

絵本の読み聞かせ、読書、紙芝居、いろいろなおもちゃづくりなどを楽しんでいます。

今日の参加者は**5名**で(男の子2名、女の子3名)でした。

「紙トンボ」を作り飛ばして遊んだり、紙で魚やカメ、イカをたくさん作り、魚の口部分にクリップをはさみました。そして紙で作った釣り竿の糸の先にマグネットを結び、このサオで釣りを楽しみました。みんなとても上手に釣れました。

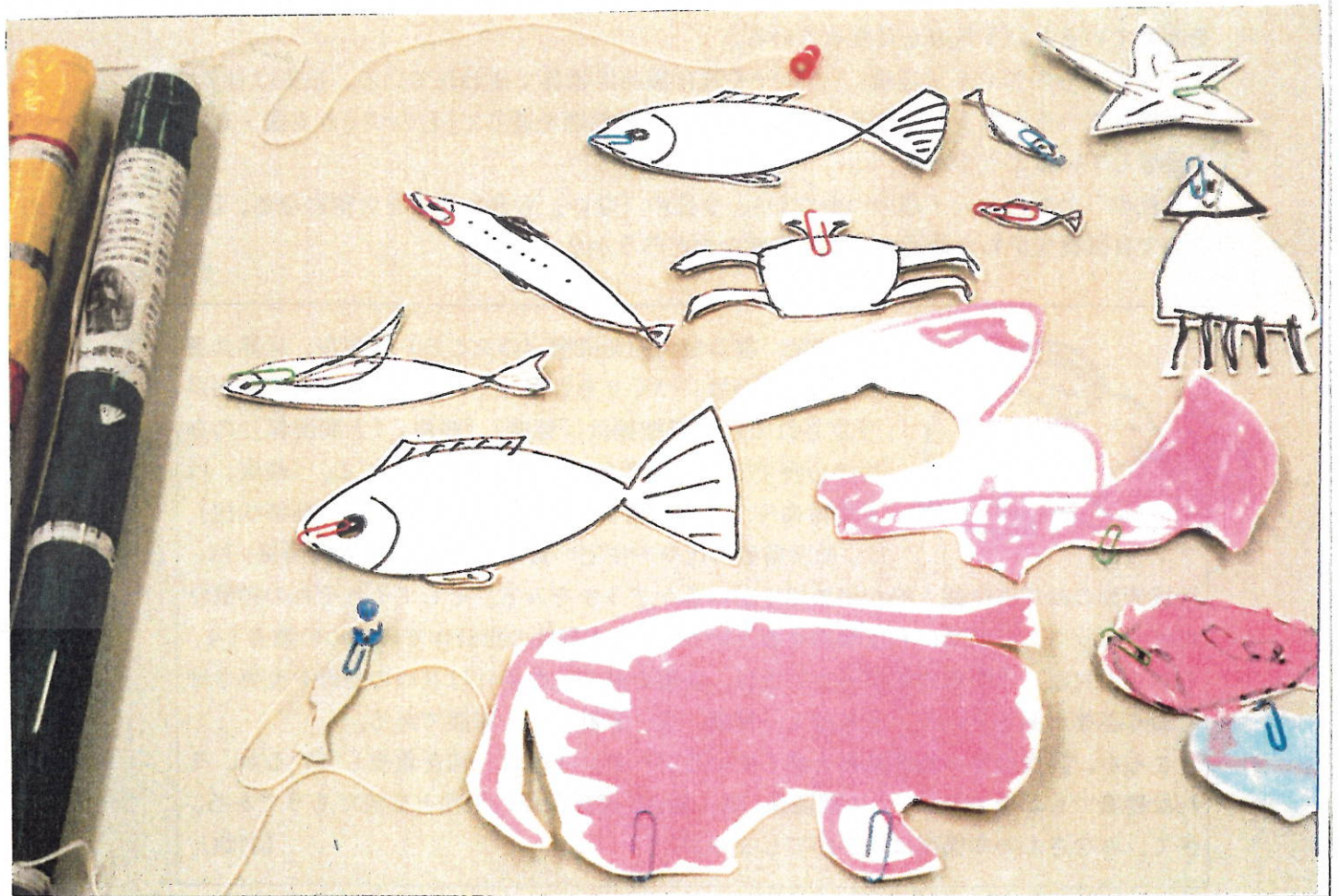
最後は紙芝居「たなばたものがたり」を楽しみました。ボランティアは曾我部さん。



河村さんの「紙芝居」



魚、カメ、カニ、ヒトデ、くらげ、イカなどいろいろなものを作って釣りをして遊びました。



=知っておきたい知識=

日本が世界に誇れることはどんなことか？

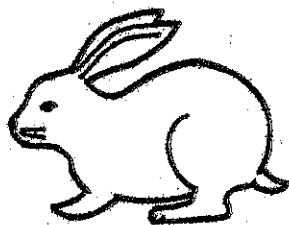
グローバル化の動きが加速し、中国や韓国など近郊諸国の存在感も高まるなか、日本経済新聞社が日本能率協会総合研究所の協力で小学校5年生から中学校3年生までの400人に対して、「日本が世界に誇れることは？」と聞いた結果、下記のような回答を得た。

1位	まじめな国民性・勤勉さ	45人
2位	ものづくり・技術	43人
3位	分からない、思いつかない	27人
4位	安心・安全に暮らせること	24人
5位	四季・自然環境の良さ	15人
6位	料理(すしなど)	14人
7位	歴史がある・文化的に優れている	13人
7位	マンガ・アニメなどサブカルチャー	13人
9位	ない	12人
10位	何でもそろそろ便利な社会	4人

1位の「まじめな国民性・勤勉さ」は、みんなまじめで頑張っている、ルールを守るなどの意見が多く、国民気質そのものの評価、それに加えて勉強熱心、まじめな努力で国力を高めているという見方も目立っている。

2位の「ものづくり・技術」。クルマや電化製品が世界で使われている。技術は世界で一番優れていると思うなど身近な製品や輸出産業の話題を通じて「ものづくり立国・日本」を実感しているようである。

3位の「分からない・思いつかない」、9位の「ない」も合わせると2割になる。国際社会で自信喪失がちな最近の日本の実感なのだろうか？



編集後記 経済協力開発機構(OECD)は現在、世界共通の「幸福度指標」づくりを目指している。日本として提出が予定されている新指標は「健康」「経済」「人間関係」の3つの分野で6~10項目の個別の指標をつくる。「健康」は平均寿命やうつ病患者の人口比率などで構成。「経済状況」は、低所得者の比率や住宅の質などで測る。「人間関係」は、地域活動の参加率や個人的な相談相手がいるかどうかをみる。そしてそれぞれの指標を毎年チェックして政策にも反映させるという。幸福度指数の指針作りのための調査(4,000人対象)で明らかになったことは、幸福と感ずるためには3つの分野を充実させておく必要があるという。それは1.健康、2.家計 3.家族である。

ところが、国民の95%が幸福と感ずているブータン王国は、何を重視しているか、それは健康でもお金でもない。人間関係、隣人関係、家族関係の平和と交流だそうである。さて、みなさんの幸福度はいかがでしょうか。(羽賀)